

特集第3弾

～御船町特産品認定商品～



手延べ御船そらいろめん
そらいろパスタ

自然のめぐみでできた御船産アンチャン花と熊本県産の小麦、吉無田水源水が合わさることですら色のこだわり手延べそらいろめん・パスタが誕生しました。

それを手掛けるのは、ハンドメイド雑貨衣類の販売やタイ料理レストランの福永幸山堂御船ギャラリー。

この商品の青色は、天然のアンチャン花（バタフライピー）から出る色で、アンチャン花には、ブルーベリーの4倍を超えるアントシアニンが含まれ、優れた抗酸化作用があります。なめらかな舌触りともっちりとした食感が楽しめます。そらいろそらめんは、レモン果汁を加え



球磨焼酎ななたき

七滝の清らかな水で育まれたおいしい棚田米ヒノヒカリ七滝米を使用した本格米焼酎。香味とさわやかなのどごしが特徴の、球磨焼酎ななたきが完成しました。

これを企画したのは、七滝出身で運輸・引越し業などを経営している株式会社AZUMAの上田裕子社長。熊本地震で農業用水路に大きな被害を受けた御船町七滝地区。その中で収穫できたお米を農家から購入しました。製造を担当したのは、房の露株式会社（多良木町）。七滝米を原料とし、球磨の良質な伏流水と蒸留の技で球磨焼酎として誕生しました。



想い



株式会社AZUMA
嘉島町井寺 225-1
☎ 237-2378

株

株式会社AZUMAの上田裕子社長は「自慢の米作りができるようになってほしい。七滝の農家の人たちの復興への後押しをしたい」と話す。

帯には日向までの歴史をうたい、日向往還の古里」と名付けました。すっきりとした味わいで飲みやすく、ロックがおすすめです。

販売店舗は、町内店舗や城彩苑、鶴屋本館など。720ml入りで販売中ですが、今後一升瓶の製造も予定しています。

皆さんも「七滝」への思いが込められた、球磨焼酎「ななたき」を飲んでみませんか。

ることだめんの色が青色から紫色に変わり、味もさっぱりとしたものになり、一つで二度おいしいものになります。



福永幸山堂御船ギャラリー
御船町御船 1000-1
☎ 282-3443

想い

福 永幸山堂御船ギャラリーの福永スイリポーン（ラー）さんは、「世の中には、青い食べ物がない。色で楽しめ、味でも楽しめるものを作りたい」と話しました。

「今後、アンチャン花のさまざまな活用やパスタの原料となる小麦、その中でも国産自給率がほとんどない「デュラム小麦」の普及を行い、今までにないものを作りたい」と話す福永さん。これからは福永幸山堂御船ギャラリーの挑戦が続きます。

池田活版印刷物

さまざまな活字を使い、活版印刷を手掛ける、歴史ある池田活版印刷所は、明治33年から創業し、今年で119年目を迎えました。

活版印刷とは、活字を組み合わせて作った版「組版」を使った印刷方法。印刷所では、大小で11種類、書体が4種類、総数が数十万個の活字を所有しています。商品には、活字を組合わせる「活版コード」を用いた名刺やミニカレンダー、御船の絵葉書などが店内に並びます。活版印刷ならではの、文字の凹凸と和紙とのマッチングで温もりを感じ、味わい深いものとなります。



御船町納豆×わさびふりかけ

御

船町の企業74社でつくる「オールみふね恐竜の郷復興プロジェクト」が食品メーカーの（株）通宝と協力し、開発された「納豆×わさびふりかけ」が注目を集めています。

平成30年4月には、風味の異なる5種類のふりかけの中から、町民を対象にふりかけ総選挙を行い、最も人気あった「わさび」が選ばれました。ふりかけには、ポリフェノールや鉄分を多く含む、町のいさぎにも認定されている水前寺菜「御船川」が入っています。水前寺菜「御船川」のこれまで廃棄していた商品にできない部分を有効活用することに成功しました。乾燥させ、粉末状にして使用しています。

オールみふね恐竜の郷復興プロジェクト

御船町御船 912-1-2F
☎ 200-3593



想い



池田活版印刷
御船町御船 795
☎ 282-0069

池

田活版印刷所5代目店主の吉田典子さんは、「たくさんの人に喜んでもらえるようなものを作りたい」と笑顔で話します。

熊本地震では、印刷所内も被災し、数十万個の活字がバラバラに散乱。途方にふていたなか、たくさんさんのボランティアの人たちの協力によって再建。「恩返しのためにも、印刷所を続けていき、活版印刷をもう一度盛り上げていきたい」と強い思いを語った。

「そしてこの名刺や葉書などの商品がたくさんさんの手に渡り、活版印刷の良さの一つ一つの手作りの温もりが伝わることで、御船町のPRにつながればうれしい」と話しました。古くて新しいものづくりが今日も生みだされています。

想い



オールみふね恐竜の郷復興プロジェクト代表の福味総一郎さんは「これは地元企業や農家の人たちの思いを背負った商品。他町の企業と協同して作ることができたことは、今後の商品開発を後押しすることができ」と思いを語りました。

ふりかけは保存が効くうえ、そのまま食べられるとあって災害時の「防災食」としても活躍しています。販売店は、町観光交流センター、町内店舗、県内百貨店、スーパーマーケット各店で（税込324円）販売されています。御船町民が作り出した新しいふりかけ、ぜひご賞味ください。